

工業用水道事業会計
主な収益の推移

(単位:千円)

項 目	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 当初予算	令和7年度 当初予算	前年度増減
給水収益	1,197,825	1,190,666	1,208,642	1,191,960	1,196,574	4,614
共同施設管理収益	261,008	337,419	302,970	413,407	407,557	△ 5,850

工業用水道事業会計

尼崎市の工業用水道

給水開始時期	昭和 32 年	
配水能力	170,000 m ³ /日	
配水管延長	61 km	
給水社数	53 社	
年間総配水量	22,408,000 m ³	(前年度比 +2.1%)
1 日平均配水量	61,392 m ³	
年間契約水量	47,582,000 m ³	(前年度比 +0.2%)
1 日平均契約水量	130,363 m ³	
年間総給水量	22,236,000 m ³	(前年度比 +1.9%)
1 日平均給水量	60,921 m ³	

- (1) **工業用水道事業の施設のあり方** 655,571
公営主要 ユーザー企業が減少する中、他の事業体との連携による施設の (224,021)
P4 あり方の検討や老朽化対策を講じるなど、工業用水の安定した供給を継続する。
- ・ 園田配水場ソーダ灰注入設備更新工事
 - ・ 園田配水場ポンプ棟屋上防水工事
 - ・ 一津屋取水場導水ポンプ用吐出弁及び逆止弁更新工事
 - ・ 江口取水場受変電設備等更新工事
 - ・ 江口取水場ポンプ設備等更新工事 等
- 債務負担行為 (7 年度提出分) 金額 459,364



園田配水場 供用開始：昭和 42 年

- (2) **管路の計画的更新と維持管理** 313,968
公営主要 「重要度・老朽度・耐震性」の 3 つの観点から配水管の更新優先度を設定 (560,171)
P5 し、投資規模の平準化を図りつつ、計画的に管路を更新する。また、管路の維持管理においては、従来の対処的な修繕等を施すのではなく、より効率的かつ計画的な予防保全の取り組みを推進する。
- ・ 配水管整備工事 0.2km
- 管路の耐震化率 見込み 66.9%
- ・ 維持管理点検及び維持管理工事
 - ・ 延命化策定支援業務委託
- 債務負担行為 (7 年度提出分) 金額 869,119

- (3) **経営の効率化** 4,192
公営主要 業務効率の向上を図るため I C T の利活用を推進するなど、更なる経営の (1,600)
P9 効率化に取り組む。
- 水道施設情報管理システムを更新し、機能面の充実とともに経費の削減を図る。また、園田配水場に紙の媒体で保管している完成図書を電子化し、図面の確認業務等の効率化を図る。
- ・ 水道施設情報管理システムの更新
 - ・ 完成図書の電子化
- 債務負担行為 (7 年度提出分) 金額 5,143